

牡鹿クリーンセンター解体撤去工事設計業務

特 記 仕 様 書

石巻市建設部建築課

1 業務の目的

本業務は、石巻市（以下、「甲」という。）が予定している牡鹿クリーンセンター（ごみ焼却施設）の解体撤去工事を行うに当たり、有害物質等の調査及び分析を行い、解体撤去工事を発注するために必要な書類の作成を目的とし、受注者（以下、「乙」という。）に委託するものである。

2 適用範囲

本仕様書は、牡鹿クリーンセンター解体撤去工事設計業務に適用する。本仕様書に記載されていない事項については、甲、乙協議のうえ、決定するものとするが、業務履行上当然必要と思われる事項については、受注者の責任において完備するものとする。

3 履行期間

契約の締結日から令和7年11月28日までとする。

4 委託の概要

（1）業務委託名称

牡鹿クリーンセンター解体撤去工事設計業務

（2）業務の本施設

名 称 牡鹿クリーンセンター（以下、「本施設」という。）

所 在 地 石巻市十八成浜清崎山1番地49

炉 形 式 機械化バッチ式焼却炉

焼却能力 10t/8h×2炉

竣 工 平成7年9月

稼働停止 平成30年3月

《設備概要》

1. 受入供給設備	ごみ計量機	1基	ごみクレーン	1基
	予備ピット	1基	給塵装置	2基
2. 燃焼設備	焼却炉	2基		
3. 燃焼ガス冷却設備	ガス冷却室	2基		
4. 排ガス処理設備	バグフィルター	2基	塩化水素除去装置	2基
5. 通風設備	押込送風機	2基	二次押込送風機	2基
	空気予熱器	2基	誘引送風機	2基
6. 灰搬出設備	灰押出装置	2基	灰搬出装置	1基
7. 排水処理設備	排水処理装置	1基		
8. 給水設備	受水槽	1基	給水ホップ	1基
9. ガス処理設備	ガス固化装置	1基	ガス輸送装置	2基
10. 排ガス監視設備	塩化水素濃度計	1基	一酸化炭素濃度計	2基
	酸素濃度計	2基		

構造・階数	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3 階建て
建築面積	1, 438. 00 m ²
延べ面積	2, 206. 42 m ²

5 業務内容

(1) 有害物質等調査業務

本施設におけるダイオキシン類、重金属、アスベストに関する調査・分析を行うものとする。本業務の実施にあたり、サンプリング調査の時期、調査個所の範囲等について甲と協議を行い、分析調査作業計画の作成を行う。

なお、本施設のダイオキシン類の汚染状況が不明であることから、ばく露を防ぐために保護具の着用等、安全に十分配慮し作業を実施する。

別表 1 に示す数量は標準数量であるため、現地調査の結果、箇所・数量に増減が生じた場合は甲乙協議のうえ、契約変更の対象とする。

(2) 解体工事発注資料の作成

乙は、「(1) 有害物質等調査業務」の結果を踏まえ、本施設の解体計画を検討する。なお、解体撤去工事は性能発注方式※1 を想定し、これに必要な資料の取りまとめを行うものとする。

※1：本業務において、「性能発注方式」とは、現場説明書、設計図書、仕様書等に基づき、工事の受注者が解体工事方法等の提案を行い、その中から選定されることを言う。

ア 基本条件の整理

(7) 現地踏査

分析結果を踏まえ、基本条件を確認するため、現地調査を実施する。

(1) 条件整理、計画及び検討

現地調査等を踏まえ、以下の諸条件の整理、計画及び検討を行う。

- a ダイオキシン類ばく露防止計画
 - (a) 解体作業管理区域及び防護具選定に係る管理区域の設定
- b 作業場所の分離・養生
 - (a) 管理区域ごとの作業場所の分離に関する計画
 - (b) 作業場所の養生方法と換気計画
- c 作業員のばく露防止対策及び除染の方法
 - (a) ダイオキシン類及びアスベストの作業員に対する暴露防止対策と除染の方法
- d 解体工事手順の検討
 - (a) 解体方法の選択（手選別、せん断、研削、溶断等）
 - (b) 解体工法の選択（破碎解体と部材解体）
- e ダイオキシン類及びアスベストの除染計画
 - (a) 汚染物除去の方法

- (b) 汚染物除去結果の確認方法
- f プラント機器解体計画
 - (a) 解体工事時の使用機材
 - (b) 解体作業計画
- g 解体廃棄物の分別、保管、処理・処分及び再資源化の検討
 - (a) 建設廃棄物及び有価物の分別、保管、処理及び再資源化計画
- h 作業環境測定及び周辺環境調査計画
 - (a) 周辺環境の保全計画
 - (b) 周辺環境調査(モニタリングを含む)及び作業環境測定に関する計画
 - (c) 環境保全目標値の設定
- i 跡地計画
 - (a) 撤去工事完了後の計画を行う。なお本施設跡地の利用計画はない。
- j 工事工程等の検討
 - (a) 工事工程表の作成
 - (b) 概算工事費の算出
 - (c) 各種届出及び手続リストの作成（届出に必要な図面の作成、関係機関との協議を含む）
- イ 見積仕様書の作成

解体工事業者が保有する解体・撤去、処理処分（分解）技術を把握し、安全な解体・撤去工事方法及び汚染物処分、分解技術計画、解体撤去工事に係る概算事業費を把握するために見積徴収、比較検討を行う。
- (7) 仕様書作成

本施設の解体についての仕様を見積仕様書として作成する。また、この見積仕様書を解体実績業者に提示するとともに、解体処理計画書（参考見積り設計図書を含む）を3社以上徴収する。なお、解体処理計画書を徴収する際は、必要に応じて現場確認に立ち会うものとし、本施設を十分に把握したうえで解体処理計画書を徴収するものとする。

 - a 見積条件の設定
 - b 見積仕様書の作成
- (イ) 図面作成
 - a 仕様書に添付する図面として、以下の図面を作成
 - (a) 現況図
 - (b) 機械・電気設備解体撤去範囲図
 - (c) 建築物解体撤去範囲図
 - (d) 土木構造物解体撤去範囲図
 - (e) その他の解体撤去対象物範囲図
 - (f) ダイオキシン類管理区域図
 - (g) ダイオキシン類対策仮設図（参考）

(h) 工事完了造成図

(i) その他の必要な図面

b 既存図面の取りまとめ

(ウ) 数量計算書

解体工事に係る見積内訳書を作成するため、既存資料（図面、実績報告書等）を利用し、数量調書を作成する。

(エ) 見積内訳書

数量調書等より解体工事に係る参考見積用の見積内訳書の作成を行う。

(オ) 見積報告書

各業者から徴収した解体処理計画書及び見積設計図書を整理し、審査及び評価を行うとともに見積金額の妥当性を検討し、提案内容の比較検討書を作成する。

ウ 見積報告書等の精査

見積報告書をもとに仮設計画、工事期間等の精査を行い、発注仕様書作成及び工事費算出の資料とする。

エ 発注仕様書の作成

各業者の提案等を精査して、見積仕様書を修正し、発注用の仕様書を作成するとともに、工事設計書を作成する。

(ア) 発注仕様書作成

(イ) 解体工事発注設計図及び仮設参考図の作成

(ウ) 数量計算書の作成

(エ) 数量算出根拠及び設計計算書（外部足場、地下部土留め等）の作成

(オ) その他現場説明に必要な事項の整理

(カ) 工事内訳書作成

オ 周辺住民に対する説明資料の作成

工事に先立ち又は工事中において、当施設周辺住民に対する説明を行う際に使用する資料の作成を行う。なお、説明会開催の際には同席し、技術的な説明を行うものとする。

6 関係法令等の遵守

乙は、本業務の履行にあたり、以下の関係法令（政省令、告示等を含む）を遵守しなければならない。

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」

「ダイオキシン類対策特別措置法」

「廃棄物焼却施設解体作業マニュアル」

「大気汚染防止法」

「水質汚濁防止法」

「土壌汚染対策法」

「騒音規制法」

「振動規制法」

「建築基準法」

「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱」

「既存建築物の吹付けアスベスト粉塵飛散防止処理技術指針」

「石綿障害予防規則」

「建築物の解体等工事における石綿粉じんへのばく露防止マニュアル」

「非飛散性アスベスト廃棄物の取り扱いに関する技術指針」

「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」

その他、上記以外であっても、関係する法令があれば遵守すること。

7 資料の貸与

本業務の履行上必要な資料の収集、調査、検討等は原則として乙が行うものとするが甲が所有し業務に利用できる資料はこれを貸与する。この場合、貸与を受けた資料についてリストを作成のうえ、甲に提出するものとする。また、貸与を受けた資料が不要となった場合又は業務の完了時には、速やかに当該資料を甲に返却するものとする。

貸与資料等

貸与資料	適用
・ 牡鹿町ごみ焼却施設建設工事 竣工図（平成7年9月） （土木・建築設備、電気設備、機械設備）	・ 紙媒体 A 4 折製本

8 中立性の堅持

乙は、常に中立性を堅持しなければならない。

9 秘密の保持

乙は、本業務の履行上知り得た事項について、これを第三者に漏らしてはならない。

10 提出書類

乙は、業務履行にあたり契約書に定める書類のほか、業務計画書を作成し提出するものとする。

11 照査技術者、管理技術者、主任技術者

本業務の実施に際して、乙は本業務の意図及び目的を十分に理解し、技術面の管理を行うために必要な専門知識と十分な業務経験を有した照査技術者、管理技術者、主任技術者を配置することとする。

照査技術者と管理技術者は、技術士【衛生工学部門（廃棄物管理）又は建設部門（建設環境）又は総合技術管理部門（廃棄物管理）】又はR C C M【廃棄物部門】の資格を有すること。

主任技術者は、一級建築士の資格を有すること。

12 打合せ及び議事録

乙は、業務の着手に先立ち甲と十分な打ち合わせを行い、また、業務中には必要の都度打合せを行うものとし、円滑な業務の履行に努めなければならない。

乙は、打合せごとに議事録を作成し、一週間以内に甲に提出するものとする。

13 疑義

本仕様書に定める事項について疑義を生じた場合は、乙は自己解釈することなく、甲と打合せを行い、その内容を理解したうえで業務を履行するものとする。

14 検査

乙は、業務完了時に甲の成果品検査を受けなければならない。その結果、訂正を指示されたときは、直ちに訂正しなければならない。

業務完了後、明らかに乙の責に係る業務の瑕疵が発見された場合、乙は直ちに当該業務の修正を行わなければならない。その場合、乙の負担で行うものとする。

15 成果品

乙は、業務完了に際し、以下の成果品を提出するものとする。なお、成果品の作成及び編集については、あらかじめ甲と協議を行うものとする。

成果品は、すべて甲に帰属するものとし、甲の許可なく公表、貸与又は使用してはならない。

成果品一覧表

成 果 物	原 図	写 し	製 本 形 態	適 用
解体設計図書				
1 有害物質等調査・分析報告書 分析調査作業計画書 アスベスト調査報告書	各1部			CD-Rによる提出
2 解体計画書 ダイオキシン類ばく露防止計画 作業場所の分離・養生 作業員のばく露防止対策及び除染の方法 解体工事手順 ダイオキシン類及びアスベストの除染計画 プラント機器解体計画 解体廃棄物の分別、保管、処理・処分及び再資源化 作業環境測定及び周辺環境調査計画 工事工程（概算工事費） 各種届出及び手続リストの作成 （届出に必要な図面の作成を含む）	各1部			CD-Rによる提出
3 見積報告書 見積仕様書 添付図面 現況図 機械・電気設備解体撤去範囲図 建築物解体撤去範囲図 土木構造物解体撤去範囲図 その他の解体撤去対象物範囲図	各1部			CD-Rによる提出

ダイオキシン類管理区域図 ダイオキシン類対策仮設図（参考） 工事完了造成図 その他の必要な図面 既存図面の取りまとめ 数量計算書 見積内訳書 解体工事実績 総括表 見積書、技術提案書等の審査結果報告書 （比較検討書等）				
4 解体工事発注資料				CD-Rによる提出
発注仕様書	1部	縮小A3判Z折り	縮小A3判二つ折り	
解体工事発注設計図、仮設参考図	（上質紙：70kg）	（1）部	（5）部	
数量計算書	1部			
数量算出根拠及び設計計算書	1部			
現場説明に必要な事項	1部			
工事内訳書	1部			
5 打合せ議事録	1部			CD-Rによる提出
6 その他技術資料等	1部			CD-Rによる提出
7 周辺住民に対する説明資料	1部			CD-Rによる提出
解体計画書をもとに工事概要、工程表等の簡略版を作成				

（注）：成果物（設計書等）は、A 4 ファイルに綴り、成果物（図面）は、調査職員の指示により、製本とする。

：成果物は、調査職員との協議により、適宜変更することができる。

：見積報告書の成果物は、発注仕様書作成に入る前に調査職員に提出する事。

16 その他

（１）乙は解体工事の発注にあたり、本業務委託において作成した解体工事発注図書等の成果品に関し、甲から質疑があった場合、本業務委託終了後であっても誠意をもってその回答に協力するものとする。

（２）乙は、本計画の円滑な推進のために必要な関係機関との協議等に関して、甲に対し適切な助言を行うとともに、必要に応じて同席し、技術的な説明を行うものとする。

- (3) 本業務に文献、その他の資料を引用した場合は、その文献、または資料名を明記するものとする。
- (4) 本施設へ立ち入る場合は、事前に甲に連絡し、必要に応じて甲の立会いのもと立ち入るものとする。なお、立ち入りに際しては、事故等が生じないよう安全管理を徹底するものとする。

17 暴力団等の排除について

- (1) 乙が、この契約の履行期間中に石巻市入札契約に係る暴力団等排除要綱（平成20年石巻市告示第268号。以下「排除要綱」という。）別表措置要件に該当するときは、契約を解除することができるものとする。
- (2) 乙は、排除要綱の規定に基づく指名停止措置期間中の者並びに石巻警察署長又は河北警察署長（以下「管轄警察署長」という。）から排除要綱別表措置要件に該当する旨の通報を受けた者を石巻市が発注する建設工事等に係る下請負人（一次及び二次下請以降すべての下請負人及び資材、原材料の購入契約その他契約の相手方を含む。以下同じ。）又は再受託者（再受託以降のすべての再受託者を含む。以下同じ。）としてはならない。
- (3) 乙は、指名停止措置期間中の者及び管轄警察署長から排除要綱別表措置要件に該当する旨の通報を受けた者を下請負人及び再受託者（以下「下請負人等」という。）としていた場合は、当該下請負人等との契約の解除を求めることがある。
- (4) 乙は、この契約において、暴力団員及び暴力団関係業者（以下「暴力団員等」という。）による不当要求又は妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに管轄警察署長に通報及び捜査上必要な協力（以下「警察への通報等」という。）を行うこと。
- (5) 乙は、(4) により警察への通報等を行った場合には、速やかにその内容を記載した文書（石巻市が発注する建設工事等における不当介入マニュアル第2第2号に定める別紙様式（石巻市ホームページに掲載））により建設工事等担当課長に報告すること。
- (6) 乙は、下請負人等に対しても、(4) 及び(5) と同様の措置を指導すること。
- (7) 乙又は下請負人等が、暴力団員等による不当介入を受けたことにより工程等に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、建設工事等担当課長と協議を行うこと。
- (8) 市長は、乙が(4) 及び(5) の内容について怠ったことが確認されたときは、指名停止措置を行うものとする。

18 設計業務等の重要事項説明について

落札が決定した者は、建築士法第24条の7第1項の規定に基づき、契約締結前に重要事項説明書を提出の上、説明を行うこと。また、契約締結に際して同法22条の3の3第1項の規定に基づき書面を交付すること。

有害物質調査対象物 別表 1

(1) ダイオキシン類

	場 所	付 着 物	堆 積 物	合 計
1	焼却炉	2	2	4
2	煙道		2	2
3	空気予熱器	2		2
4	ガス冷却設備	2		2
5	集塵機	2	2	4
6	ダスト搬送装置		2	2
7	ダスト固化装置	1	1	2
8	焼却灰搬送装置		2	2
9	灰バンカ	1	1	2
10	煙突	1		1
11	排水処理装置		1	1
合 計				2 4

(2) 周辺土壌 (ダイオキシン類)

	調 査 箇 所	検 体 数	
1	施設北側	1	1
2	施設東側	1	1
3	施設南側	1	1
4	施設西側	1	1
合 計			4

(3) 重金属溶出試験

(R-Hg T-Hg Cd Pb Cr6+ As Se 1,4-ジオキサン)

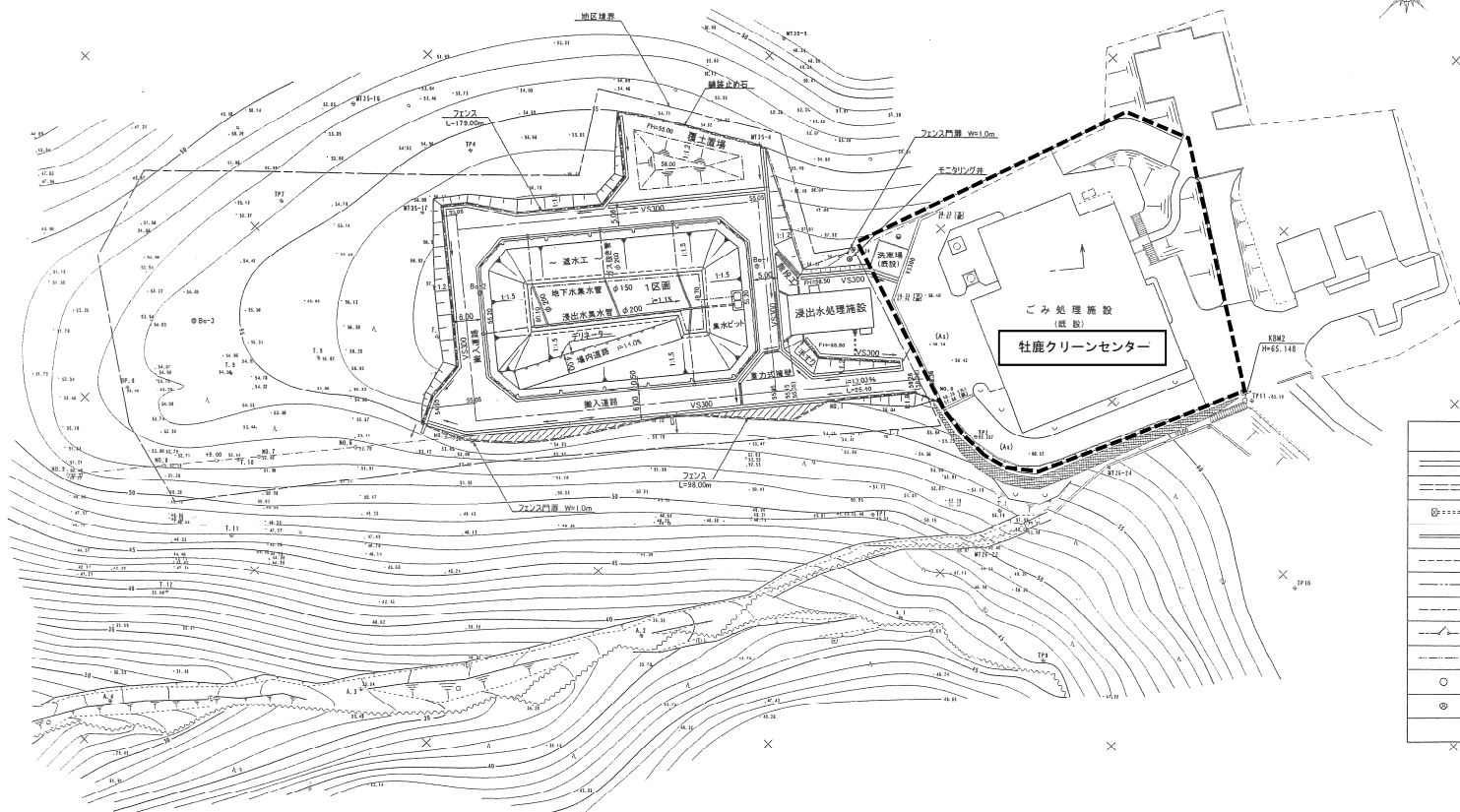
調査箇所	名 称	検体数
焼却炉	堆積物	1
集塵機	堆積物	1
ダスト固化装置	堆積物	1
灰バンカ	付着物	1
合 計		4

(4) アスベスト (定性分析)

外部仕上					検体数
外壁	1階・2階	吹付タイル			1
	3階	ALC版 吹付タイル			1
軒裏		ケイカル板			1
庇		防水モルタル			1
ピロティ	壁・天井	コンクリート打放 吹付タイル			1
内部仕上					
1階	工場	焼却室	床	コンクリート金コテ 防塵塗装	1
		ごみピット	壁	コンクリート打放 塗布防水	1
	管理部	玄関	床	ビニールクロス	1
			巾木	ソフト巾木	1
			壁	PB ビニールクロス	1
			天井	PB ビニールクロス LGS下地	1
		湯沸室	床	長尺塩ビシート	1
			壁	PB EP	1
			天井	ケイカル板 VP LGS下地	1
2階	管理部	ホール	床	ビニールタイル	1
			巾木	ソフト巾木	1
			壁	PB ビニールクロス	1
			天井	PB ビニールクロス LGS下地	1
		湯沸室	壁	PB EP	1
			天井	ケイカル板 VP LGS下地	1
		洗濯室	床	長尺塩ビシート	1
			壁	耐水PB EP	1
	階段室	壁	モルタルEP	1	
		天井	モルタル VP	1	
3階	工場	灰固化室	床	コンクリート金コテ 防塵塗装	1
	管理部	事務室・中央制御室	床	ビニールタイル	1
			巾木	ソフト巾木	1
			壁	PB ビニールクロス	1
			天井	岩綿吸音板 LGC下地	1
		倉庫	床	長尺塩ビシート	1
			壁	PB EP	1
			天井	ケイカル板 VP LGS下地	1
		男子便所	壁	タイル 耐水PB 下地	1
その他	焼却炉 キャスター		2		
	配管エルボ		3		
	パッキン		3		
	保温材		2		
総計					43

牡鹿クリーンセンター解体撤去工事設計業務(参考図)

業務範囲を示す



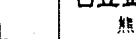
凡 例	
	雨水排水溝
	雨水排水管
	集水側および取付暗渠
	浸出水集水管
	ガス抜き管
	地下排水水管
	フェンス
	フェンス門扉
	手すり
	デリネーター
	モニタリング井

0 25 50
S=1 500

平成13年度	
工事名	牡鹿町一般廃棄物最終処分場建設工事
所 属	宮城県建設部建設課 大宮十八歳区字津崎山地区
図面名	全 体 配 置 図 (白抜き)
縮 尺	1:500 図面番号 3
設 計	
宮 城 県 牡 鹿 町	

B	A	品番	品 名	材質	型 式 ・ 仕 様	図 番	枚目

外部仕上表			
屋根	下系統鉄鋼板 0.6mm厚 電鍍仕上 250. 7.7x4.4x1.7mm厚 2系統 25. 1.2x4.4x1.7mm厚 2系統 25. 1.0-4.0x4.0x1.0mm厚 4系統 ALCL板 100	外部階段	床: 7.7x4.4x1.7mm厚 1.2x4.4x1.7mm厚
	内装: ステンレス海棲工法 ALCL板 100. 仕上: ステンレス海棲工法 養生: TLMZ RD 100%		
	7.7x4.4x1.7mm厚 1.2x4.4x1.7mm厚 2系統 25. 1.0-4.0x4.0x1.0mm厚 4系統 ALCL板 100	1.2x4.4x1.7mm厚	床: 壁: 3.3x4.4x1.7mm厚 床口部: ステンレス防汚板
外壁	1.2x4.4x1.7mm厚 1.2x4.4x1.7mm厚 2系統 25. 1.0-4.0x4.0x1.0mm厚 4系統 ALCL板 100	3.3x4.4x1.7mm厚	床: 3.3x4.4x1.7mm厚 壁: 床根: ALCL板 100 柱: 床: 鉄骨 ALCL板 50. 床口部: ステンレス防汚板
	3.3x4.4x1.7mm厚 1.2x4.4x1.7mm厚 2系統 25. 1.0-4.0x4.0x1.0mm厚 4系統 ALCL板 100	断熱 (床根部)	1.2x4.4x1.7mm厚: 防汚シート 0.1mm厚 スタイロフォーム 25. 外壁面: 現場発泡断熱材 15mm厚
			布引通気: 現場発泡断熱材 15mm厚 養生: 7.7x4.4x1.7mm厚 100.
引木	3.3x4.4x1.7mm厚		土佐外壁面: 塗布防水
軒裏	鉄鋼板 0.6mm厚		
開口部	1.2x4.4x1.7mm厚 2系統 25. 電鍍ステンレス 250mm厚	内通気路	7.7x4.4x1.7mm厚
庇	防汚7.7x4.4x1.7mm厚	鉄骨部	7.7x4.4x1.7mm厚 4系統 25mm厚
柱	新鉄鋼板 0.6mm厚 加工: 200mm厚 50mm厚 50mm厚 100mm厚 0.6mm厚	鉄骨部	3.3x4.4x1.7mm厚
フロア (1F)	床: 3.3x4.4x1.7mm厚 2系統 25. 養生: 3.3x4.4x1.7mm厚 2系統 25. 1.0-4.0x4.0x1.0mm厚 4系統 ALCL板 100		
床 (2.3F)	床: 7.7x4.4x1.7mm厚 2系統 25. 養生: 3.3x4.4x1.7mm厚 2系統 25. 1.0-4.0x4.0x1.0mm厚 4系統 ALCL板 100	壁面	3.3x4.4x1.7mm厚 2系統 25. 1.0-4.0x4.0x1.0mm厚 4系統 ALCL板 100

[illegible]

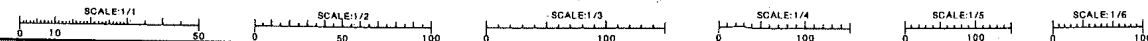
記号	来	原	年月日	訂正	番付	作番	作業 位置番号
納入先	杜鹿町 殿						F
設備名称	94-6-7総 杜鹿町こみ焼却施設建設工事						図面表 枚目 3
製国	日本	94-9-9	第 3	角法			
設計	-	-	-	-			
検閲	-	-	人庫	尺度			
番付	塩	承認	長田	/	仕上表 N O . 1		
日立金属株式会社 熊谷工場					B	205639	訂正

牡鹿クリーンセンター解体撤去工事設計業務(参考図)

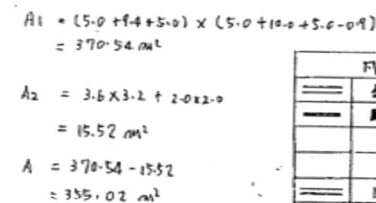
[illegible]

内 部 仕 上 表 No.2									
階	室名	床	巾木	壁	天井	天井高	廻廊	階段	備考
2	玄 関	タイル貼	タイル貼 H+100	P.B.12.ビニルクロス	P.B.09.ビニルクロス	1650下地	2400	塩ビ	上り階段 下足入 C.Box
	ホ ール	ビニルタイル	V77巾木 H+60	全 上	全 上	全 上	2400	塩ビ	下り階段Box
	廊 下	全 上	全 上	全 上	全 上	全 上	2400	塩ビ	
	機置庫(洗濯機)	全 上	全 上	全 上	全 上	全 上	2400	塩ビ	下り階段Box
	ク (巾)	タタミ敷 木質フォーム下地	タタミ3セ	全 上	杉板P.B.09	全 上	2400	杉	機置、洗濯機、タタミ
	湯 沸 室	ビニルタイル	V77巾木 H+60	P.B.12. EP	珪カル板 0.6 v.p.	全 上	2400	塩ビ	排水、台セット、電磁ヒーター
	更 衣 室	珪カル板ビニール	全 上	P.B.12. EP	全 上	全 上	2400	塩ビ	
	洗 濯 室	全 上	全 上	珪水P.B.12 EP	全 上	全 上	2400	塩ビ	排水H=24
	脱 衣 室	全 上	全 上	全 上	全 上	全 上	2400	塩ビ	手洗器
	浴 室	ユニットバス UB1216							
倉 庫	珪カル板ビニール	V77巾木 H+60	P.B.12 EP	珪カル板 0.6 v.p.	1650下地	2400	塩ビ		
階 段 室	珪カル板ビニール	V77巾木 H+60	珪カル EP	珪カル v.p.		2400	塩ビ	手すり	
3	グラウトフォーム	コンクリート盛土 防塵塗装		ALC版 現わし	ALC版 現わし				北側・南側、上廊下・下廊下・エレベーター、排水溝
	灰固化室	全 上	コンクリート打放し H+100	グラウト入グラスウールF50	グラウト入グラスウールF50				
	アトラー室	全 上	全 上	グラウト入グラスウールF50	グラウト入グラスウールF50				
	コンクリート室	全 上	全 上	全 上	全 上				
3	玄 関	タイル貼	タイル貼 H+100	P.B.12.ビニルクロス	珪板假巻板0.9	1650下地	2500	塩ビ	上り階段、下足入(154x24) C.Box
	ホ ール	ビニルタイル	V77巾木 H+60	全 上	全 上	全 上	2500	塩ビ	下り階段Box、エレベーター
	機置庫(洗濯機)	全 上	全 上	全 上	全 上	全 上	2500	塩ビ	下り階段Box
	会議室	全 上	全 上	全 上	全 上	全 上	2500	塩ビ	下り階段Box、エレベーター、階段
	湯 沸 室	全 上	全 上	P.B.12 EP	珪カル板 0.6 v.p.	全 上	2400	塩ビ	排水、電磁ヒーター
	更 衣 室	珪カル板ビニール	全 上	全 上	全 上	全 上	2400	塩ビ	
	男子便所	珪水P.B.12 F50	1000タイル 珪水P.B.12下地	全 上	全 上	全 上	2400	塩ビ	手洗器、大便器
	女子便所	全 上	全 上	全 上	全 上	全 上	2400	塩ビ	手洗器、大便器、洗面台
	階 段 室	珪カル板ビニール	V77巾木 H+60	P.B.12 EP	珪カル板 0.6 v.p.	1650下地	2400	塩ビ	手すり
前 室	珪カル板0.9、ビニルタイル	全 上	全 上	全 上	全 上	2400	塩ビ	上り階段 下足入 C.Box	

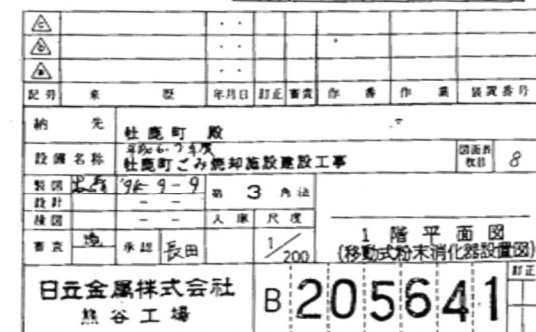
紀号	系	版	年月日訂正	審査	作番	作業	装置番号
納先 杜鹿町殿 設備名称 牧場用牛乳処理施設建設工事 <div style="float:right;"> 図面枚数 4 </div>							
製図設計	下野 96-9-9		第 3 角法				
検図	— —		人庫 尺度				
審査	塩 承認 長田		/	仕上表 N O . 2			
日立金属株式会社 熊谷工場				B	205640		訂正



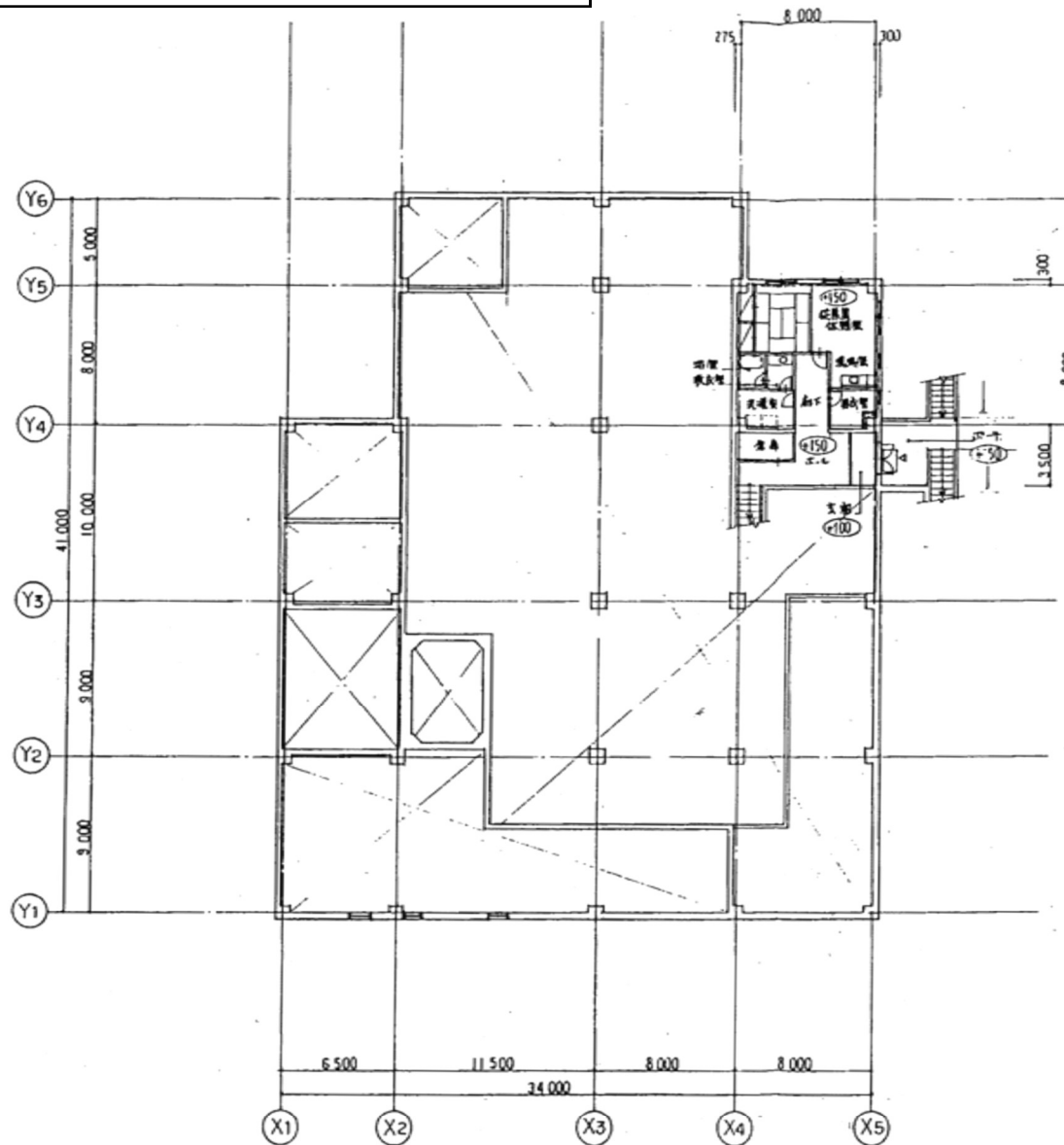
7			8		9		
B	A	品番	品名	材質	型式、仕様	圖書	枚目



	凡 例
==	鉄筋コンクリート造
==	重量鉄骨肉化切壁
==	1F ¹⁰⁰ 3F ¹⁰⁰ 5F ¹⁰⁰
①	1F 2F 3F



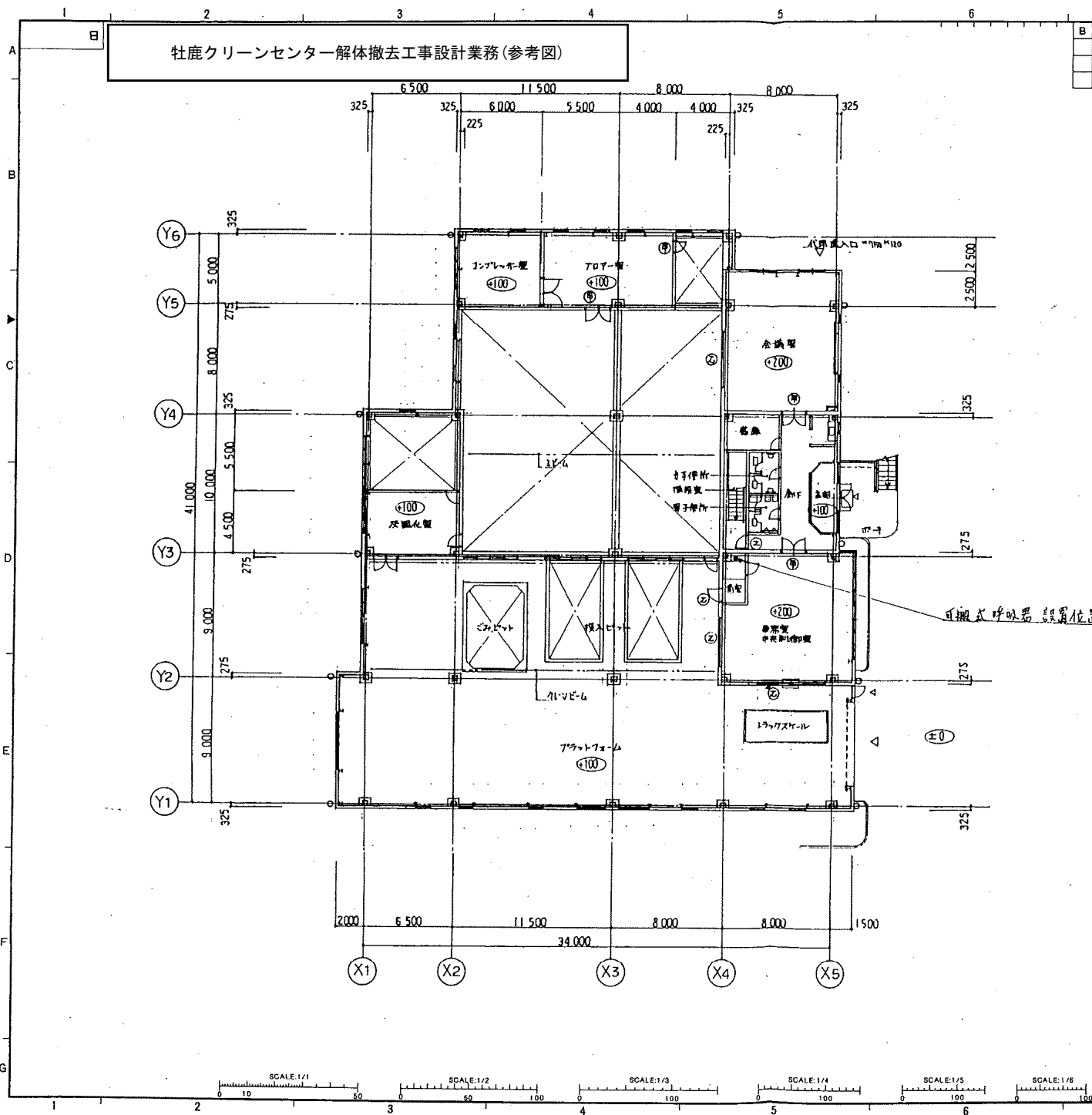
牡鹿クリーンセンター解体撤去工事設計業務(参考図)



B	A	品番	品名	材質	型式・仕様	図番	枚目

凡例	
==	鉄骨コンクリート造
==	軽量鉄骨間仕切り壁
==	100mm断熱板

記号	来	図	年月日	訂正	書式	作	書	作	業	装	画	片
納	先	牡鹿町 殿										
設備名称	牡鹿町ごみ焼却施設建設工事											
図	名	第 3 角法										
設計	— — — — —											
検図	— — — — —											
書	式	承認	長田	1/200		2 階平面図						
日立金属株式会社											訂正	
熊谷工場												
B 205642												



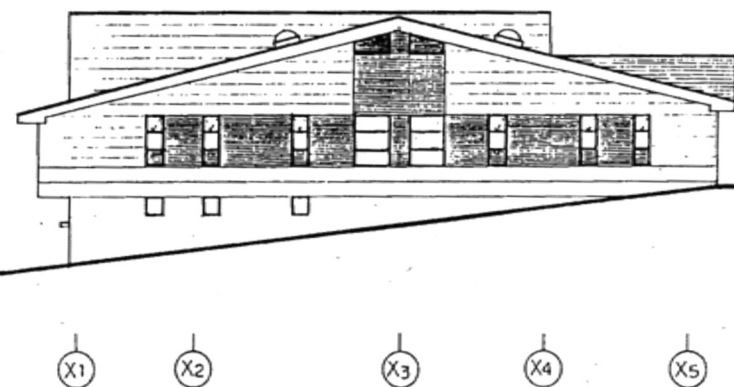
牡鹿クリーンセンター解体撤去工事設計業務(参考図)

品番	品名	材質	型式・仕様	図番	枚目

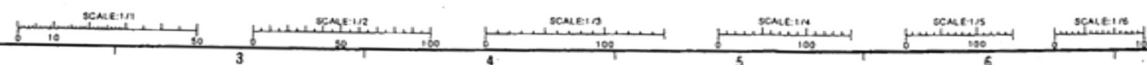
凡例	
□	鉄骨造
=====	ALC壁 100
=====	軽量鉄骨造化付壁
=====	1500mm 鉄骨柱
⑩	甲種 鉄骨
②	乙種 鉄骨

納先	牡鹿町 殿			図面枚数	1/1
設備名称	牡鹿町ごみ焼却施設建設工事			図面枚数	1/1
製図	96-9-9	第 3	角法		
設計	-	-	-		
検図	-	-	-		
前在	地	承認	長田		
日立金属株式会社				訂正	
熊谷工場				B 205643	

7		8		9		
B	A	品名	材質	型式・仕様	國番	枚目

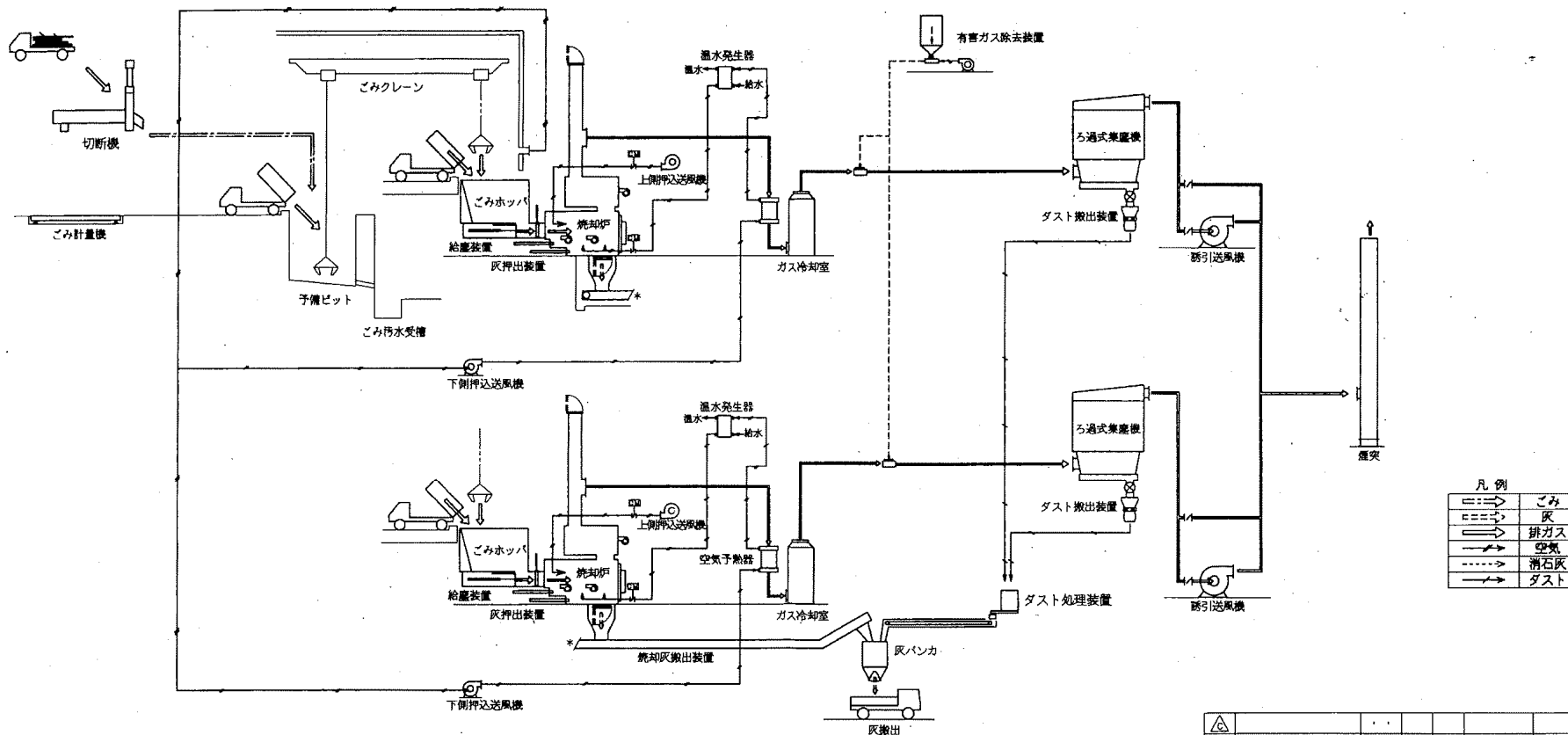


東 立 面 圖 S-1200



		-							
		-							
		-							
記号	表	裏	年月日	訂正	番付	印	番	印	番
納	光	杜鹿町 殿							F
設圖名称	杜鹿町こみ焼却施設建設工事 （仮称）						図面表 枚目	5	
図式	98-9-9	第	3	角法					
設計	-	-	-	-					
検閲	-	-	人庫	尺度					
番付	造	承認	長田		1/200	立面図 N O . 1			
日立金属株式会社 熊谷工場					B	205645			訂正

序	号	品 名	材 质	型 式	备 注	数



凡 例	
==⇒	ごみ
===⇒	灰
⇒	排ガス
→	空気
---⇒	消石灰
→	ダスト

		.	.					
		.	.					
		-	-					
記号	本	展	年月日	訂正	審査	作番	作業	装置番号
附	先	杜鹿町 殿						
装置名称	平成6年7月 杜鹿町ごみ焼却施設建設工事						図面表 数 目	
製図	吉田	-	-	第三角法				
設計	-	-	-					
検図	山崎	9-9-9	入庫	尺度	フローシート (ごみ、排ガス関係)			
審査	承認	長田	/					
日立金属株式会社				B	205652	頁数		
熊谷工場				CAD管理係				

凡例	
——→	排水
---→	沈砂、泥
——→	蒸品
---→	用水
——→	空氣

△									
△									
△									
記号	業	業	年月日	図面	事項	作業	作業	数量単位	
施主		社鹿町殿							
設置名称		〒556-7700 社鹿町ごみ焼却施設建設工事						図面表 発行	17
棟名	吉田	-	第三角柱						
設計	-	-							
構造	木造	9-9	入庫	尺量	フローシート (排水関係)				
専任	造	長田	/						
日立金属株式会社				B205654					
熊谷工場									